



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月14日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL https://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 新一 TEL 03-6369-8660  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	72,250	2.3	438	△74.7	343	△78.2	363	△71.1
2018年3月期第2四半期	70,631	5.5	1,732	△47.9	1,578	△44.8	1,255	△39.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △352百万円 (-%) 2018年3月期第2四半期 1,296百万円 (-%)

(参考) EBITDA 2019年3月期第2四半期 8,848百万円 (△2.7%) 2018年3月期第2四半期 9,090百万円 (△10.9%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	14.02	13.87
2018年3月期第2四半期	48.56	48.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	137,095	64,775	47.1
2018年3月期	137,751	65,439	47.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 64,587百万円 2018年3月期 65,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,300	2.8	3,100	△34.3	3,150	△29.0	2,300	△33.3	88.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	26,076,717株	2018年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	161,982株	2018年3月期	160,364株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	25,887,095株	2018年3月期2Q	25,858,234株

(注) 当社は、2018年6月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、2018年7月19日付で新株式を48,997株発行しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや設備投資の増加の動きがみられ、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。また海外においては、米国の景気は着実に回復が続いており、アジア地域においても中国の景気は持ち直しの動きがみられ、インドでも景気は概ね堅調に推移しました。一方で、景気の先行きについては、燃料価格の上昇や相次ぐ日本での自然災害の影響、米国の通商問題等による世界経済への懸念もあり、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高はアジアセグメントを中心に受注量の増加等により増収となった一方で、利益面については、燃料価格の上昇等によるコストアップ要因に加え、減価償却費の増加等も収益圧迫要因となりました。また、米国工場においては、改善プロジェクトを年初より継続しており生産性の改善の兆しはありますが、収益面の改善が遅れていることなどにより減益となりました。

当社グループでは今期最終年度となる1618中期経営計画に基づく施策展開を着実に進めるとともに、生産性や収益性の改善に努めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高72,250百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益438百万円(前年同四半期比74.7%減)、経常利益343百万円(前年同四半期比78.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益363百万円(前年同四半期比71.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ダイカスト事業 日本

日本自動車市場では、国内販売は昨年比で概ね横ばいの推移となっておりますが、北米での乗用車需要の減少により、当社主要顧客である自動車メーカーにおける輸出向け生産の一部が減少しております。これにより当社受注量は前年同四半期に比べて減少しましたが、アルミ地金市況上昇により売上高は33,198百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。収益面においては、販売量減少や燃料費の上昇の影響を受けセグメント損失173百万円(前年同四半期はセグメント利益430百万円)となりました。

## ② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、主要顧客である自動車メーカーの販売がピークアウトを迎える中、乗用車がシェアを縮小する一方で、小型トラックやSUVのシェア拡大が続いています。当社米国工場においても、小型トラックやSUVに搭載される部品の受注は好調ですが、昨年の一部部品の生産終了の影響が大きく、前年同四半期に比べ受注は減少しました。一方のメキシコ工場では、新規部品の量産本格化により受注量が増加しました。この結果、北米セグメントでの売上高は20,514百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。収益面においては、米国工場での改善プロジェクトの収益貢献の遅れ及び減価償却費の増加等の影響を受けセグメント損失198百万円(前年同四半期はセグメント利益214百万円)となりました。

## ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、SUVを中心とした販売拡大が続いており、当社においても関連部品の受注が好調に推移しております。インドでも、自動車市場の拡大が続いており、当社の受注量も増加しております。こうした受注増の影響に加え、両国でのアルミ地金市況上昇を受け、アジアでの売上高は15,143百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。一方でセグメント利益は顧客からのコストダウン協力や減価償却費の増加等の影響を受け748百万円(前年同四半期比9.6%減)となりました。

## ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期に比べ減少しましたが、アルミ地金市況の影響により売上高は2,290百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。収益面においては、加工費の原価低減活動を推進しておりますが、原価構成の主となる原材料が、当四半期ではアルミ相場高の影響を受け原価高となり、セグメント利益は43百万円(前年同四半期比62.4%減)となりました。

## ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し、売上高は1,104百万円(前年同四半期比14.9%増)となりました。収益面においては、価格競争の激化等によりセグメント利益は70百万円(前年同四半期比51.1%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は137,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ656百万円の減少となりました。流動資産は42,656百万円で、前連結会計年度末に比べ68百万円の減少となり、その主な要因は、現金及び預金が955百万円、たな卸資産が238百万円増加した一方、売上債権が1,412百万円減少したことによるものです。固定資産は94,438百万円で、前連結会計年度末に比べ588百万円の減少となり、主な要因は有形固定資産の減少1,319百万円によるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は72,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の増加となりました。流動負債は47,669百万円で、前連結会計年度末に比べ1,306百万円の減少となり、その主な要因は、短期借入金が増加した一方、仕入債務が684百万円、1年内返済予定の長期借入金が602百万円、未払法人税等が785百万円、賞与引当金が250百万円減少したことによるものです。固定負債は24,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,314百万円の増加となり、その主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は64,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ664百万円の減少となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が142百万円増加した一方、為替換算調整勘定が881百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末47.4%から47.1%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ955百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には3,586百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、7,959百万円(前年同四半期は10,563百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益540百万円、減価償却費8,410百万円、売上債権の減少額1,605百万円等の資金増加要因に対し、賞与引当金の減少額227百万円、仕入債務の減少額607百万円、法人税等の支払額1,218百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、8,128百万円(前年同四半期は8,270百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入305百万円の資金増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出8,109百万円の資金減少要因があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、1,258百万円(前年同四半期は3,052百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入25,309百万円、長期借入れによる収入9,284百万円の資金増加要因に対し、短期借入金の返済による支出24,489百万円、長期借入金の返済による支出8,454百万円及び配当金の支払額361百万円の資金減少要因があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、2018年10月19日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,630	3,586
受取手形及び売掛金	24,783	23,214
電子記録債権	2,902	3,057
商品及び製品	3,232	3,493
仕掛品	4,890	4,972
原材料及び貯蔵品	3,208	3,103
その他	1,090	1,228
貸倒引当金	△13	△1
流動資産合計	42,724	42,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,805	14,442
機械装置及び運搬具(純額)	43,778	42,910
土地	5,425	5,413
建設仮勘定	10,556	9,867
その他(純額)	8,317	8,929
有形固定資産合計	82,882	81,563
無形固定資産	1,786	2,014
投資その他の資産		
投資有価証券	8,266	8,478
その他	2,115	2,406
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	10,357	10,860
固定資産合計	95,026	94,438
資産合計	137,751	137,095
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,413	12,674
電子記録債務	7,882	7,936
短期借入金	5,307	6,082
1年内返済予定の長期借入金	10,109	9,506
未払法人税等	1,032	246
賞与引当金	2,157	1,906
役員賞与引当金	15	—
製品保証引当金	87	90
その他	8,971	9,225
流動負債合計	48,976	47,669
固定負債		
長期借入金	16,136	17,562
長期未払金	589	589
退職給付に係る負債	2,867	2,859
その他	3,743	3,639
固定負債合計	23,336	24,650
負債合計	72,312	72,320

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,964
資本剰余金	10,180	10,206
利益剰余金	40,272	40,273
自己株式	△238	△239
株主資本合計	57,153	57,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,335	4,478
為替換算調整勘定	4,168	3,287
退職給付に係る調整累計額	△406	△382
その他の包括利益累計額合計	8,098	7,383
新株予約権	187	187
純資産合計	65,439	64,775
負債純資産合計	137,751	137,095

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	70,631	72,250
売上原価	62,951	66,067
売上総利益	7,680	6,182
販売費及び一般管理費	5,947	5,744
営業利益	1,732	438
営業外収益		
受取利息	12	46
受取配当金	89	103
為替差益	3	—
スクラップ売却益	57	70
その他	60	74
営業外収益合計	223	295
営業外費用		
支払利息	339	294
為替差損	—	75
その他	37	20
営業外費用合計	377	390
経常利益	1,578	343
特別利益		
固定資産売却益	6	18
投資有価証券売却益	—	301
補助金収入	7	34
保険差益	51	160
特別利益合計	65	514
特別損失		
固定資産除売却損	66	164
特別退職金	55	—
製品保証費用	65	—
借入金繰上返済費用	—	152
特別損失合計	187	317
税金等調整前四半期純利益	1,456	540
法人税、住民税及び事業税	1,335	574
法人税等調整額	△1,134	△396
法人税等合計	200	177
四半期純利益	1,255	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,255	363



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,255	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	688	142
為替換算調整勘定	△675	△881
退職給付に係る調整額	28	23
その他の包括利益合計	40	△715
四半期包括利益	1,296	△352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,296	△352
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,456	540
減価償却費	7,358	8,410
賞与引当金の増減額(△は減少)	502	△227
製品保証引当金の増減額(△は減少)	63	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	25
受取利息及び受取配当金	△101	△150
支払利息	339	294
有形固定資産除売却損益(△は益)	58	146
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△301
補助金収入	△7	△34
保険差益	△51	△160
借入金繰上返済費用	—	152
特別退職金	55	—
売上債権の増減額(△は増加)	369	1,605
たな卸資産の増減額(△は増加)	62	△238
仕入債務の増減額(△は減少)	972	△607
未払金の増減額(△は減少)	136	174
未払消費税等の増減額(△は減少)	153	86
その他	369	△610
小計	11,786	9,109
利息及び配当金の受取額	101	129
利息の支払額	△344	△300
法人税等の支払額	△1,053	△1,218
法人税等の還付額	18	75
借入金繰上返済費用の支払額	—	△152
補助金の受取額	3	155
保険金の受取額	51	160
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,563	7,959
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,088	△8,109
有形固定資産の売却による収入	92	26
投資有価証券の売却による収入	—	305
その他	△273	△349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,270	△8,128
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,893	25,309
短期借入金の返済による支出	△3,276	△24,489
長期借入れによる収入	3,200	9,284
長期借入金の返済による支出	△5,443	△8,454
配当金の支払額	△309	△361
その他	△116	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,052	1,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	△133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△895	955
現金及び現金同等物の期首残高	4,100	2,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,204	3,586

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債は双方を相殺して表示することから、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が251百万円増加しており、「流動資産」の「繰延税金資産」が1,498百万円、「固定負債」の「繰延税金負債」が1,246百万円減少しております。以上により、総資産が1,246百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	33,097	20,470	13,920	2,182	961	70,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,178	1	805	2,235	7	5,228
計	35,275	20,472	14,725	4,417	968	75,859
セグメント利益	430	214	828	115	143	1,733

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,733
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,732

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	33,198	20,514	15,143	2,290	1,104	72,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,824	2	1,122	2,512	4	5,466
計	35,022	20,516	16,266	4,802	1,108	77,717
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△173	△198	748	43	70	490

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	490
セグメント間取引消去	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	438

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。